

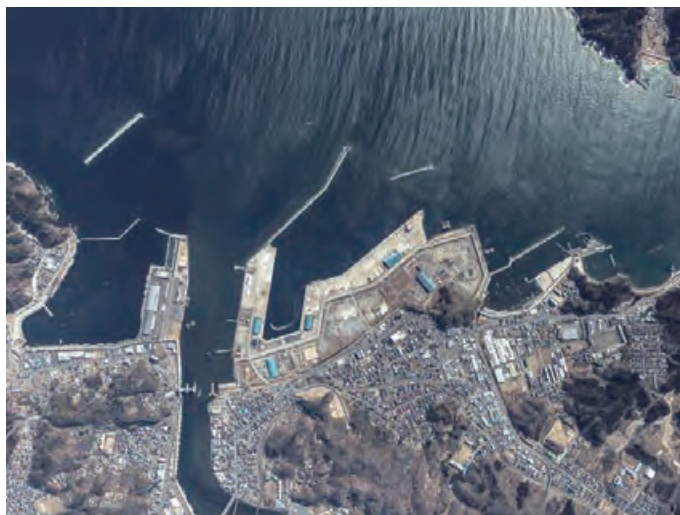
# 宮古港

## 岩手県県土整備部港湾空港課

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

☎019-651-3111(代)

URL : <https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kouwankuukou/kouwan/index.html>



## 1. 概況

### 〈沿革〉

宮古港は、県内沿岸のほぼ中央に位置し、外海から遮蔽された良港として知られ、北海道へ向かう漁船の寄港地として、又沖合に豊かな漁場を持つ漁業基地として栄えてきた。

大正11年に内務省指定港湾、昭和2年に第二種重要港湾に指定され、昭和4年には内務省直轄施行により出崎埠頭の修築工事に着工し、昭和12年に3千トン岸壁2バース、防波堤255m、閉伊川左岸物揚場1,336mが完成し、近代港湾としての形態を整えるに至った。出崎埠頭の完成と時を同じくして国鉄山田線が開通し、閉伊川筋が開発されたことによって、背後地の開発が促進され、窯業・鉱業・木材工業が相次いで立地した。

さらに昭和26年には現行港湾法の制定と同時に重要港湾に指定され、昭和28年には岩手県が港湾管理者となった。

戦後の経済復興により、背後圏立地工場の鉱産品などの原材料を中心とした港湾取扱貨物量が急増したため、出崎地区で岸壁工事に着手し、昭和39年に1万トン岸壁が完成した。

その後、背後地の鉱工業の発展に伴う輸入木材等の港湾貨物の急増に対処するため、昭和38年の港湾審議会において、藤原地区に新埠頭の建設、神林地区に輸入木材港の新設、日立浜地区に漁獲取扱施設の整備等が決定され、昭和42年度に木材港が完成した。また、この計画により藤原地区の-12m岸壁を主体とした整備が進められた。

昭和49年3月には、国道106号の整備によって盛岡地域が背後圏となり、宮古港の港勢の変化及び都市再開発の土地需要に対処するため、昭和51年度には藤原地区の一部が供用開始されるなど、今後、港勢は一段と躍進するものと期待された。しかし、その後整備を進めていくうえで、漁業者との調整が難航し、昭和56年に一部調整はついたものの、全面解決には至らなかった。

昭和60年代に入り、関係者の努力により、難航していた漁業者との調整に終止符が打たれ、昭和61年10月には、藤原・神林地区の公共ふ頭、出崎・鉄ヶ崎・日立浜地区のレクリエーション施設、高浜地区の漁業関連施設を骨子とした港湾計画が決定された。平成2年度までに藤原地区には、水深-12m岸壁1バース、-10m岸壁4バース、-7.5m岸壁4バース等が完成し、かつての出崎ふ頭中心から藤原ふ頭中心の港に変わった。

また、平成7年11月には、神林地区にヨットハーバー整備が追加決定され、平成11年4月に完成し、同年8月に開催されたインターハイのヨット会場として利用された。

平成23年3月、東日本大震災津波の被害を受けたが、現在は復旧している。

また、平成30年6月22日には県内初となる定期フェリー航路が就航したが、令和2年3月31日をもって宮古港への寄港を当面休止することとなった。

現在は、令和4年に整備された出崎地区のふ頭用地等が遊覧船の発着所となり、交流人口の拡大が期待されている。

### 〈地勢〉

本港は、岩手県沿岸の中央に位置し（北緯39度38分、東経141度59分）、西南に深く湾入した宮古湾にある。北東に開口した湾口は重茂半島の突出しによって外海からの波浪の直進が遮られることから、冬期においても概して平穏である。

湾内では養殖漁業が盛んで、湾奥の津軽石川には鮭が遡上する。また、三陸復興国立公園の中核となる浄土ヶ浜があり、石英粗面岩の白い岩肌を有する奇岩は観光地として有名である。さらに、地球科学的に貴重で素晴らしい景観を持つ三陸ジオパークを代表するジオサイトとしても登録されている。

### 〈市勢〉

宮古市は、面積約1,260km<sup>2</sup>、人口約44,000人で沿岸第一の都市である。就業人口は約24,000人で、第1次産業7%、第2次産業25%、第3次産業66%となっている。

市内には、ホクヨープライウッド(株)、片倉コープアグリ(株)などの企業、中小の木材関連工場、水産加工工場があり、典型的な臨海型の港湾都市を形成している。

### 〈特徴〉

宮古港は、江戸時代に南部藩が藩港として開設したという歴史をもち、平成27年に開港400年を迎えた。

また、本港は毎年国内外のクルーズ船が寄港しており、豊富な観光資源や歓迎行事などが高く評価され、近年寄港するクルーズ船が増加している。

復興道路として急速に建設が進められている宮古盛岡横断道路の起点となる宮古港ICが令和2年に供用を開始したことから、高速交通ネットワークと直結する港湾として、物流の飛躍的拡大が期待されている。

### 〈計画〉

定期フェリー航路の就航や大型クルーズ船の増加に対応するため、新たな施設整備等について検討が進められている。

## 2. 港勢

## 入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	22	566,294	6	391,981	6	135,820	1	7,341
内航商船	456	83,110			1	22,472	1	6,099
自航 その他	2,681	163,056						
合計	3,159	812,460	6	391,981	7	158,292	2	13,440

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	3	14,609	6	16,543				
内航商船					8	5,563	446	48,976
自航 その他			9	12,253	25	14,091	2,647	136,712
合計	3	14,609	15	28,796	33	19,654	3,093	185,688

最大入港船舶のトン数 171,598総トン（喫水 m）

## 海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入	108,737	100.0					92,608	85.2		
計	108,737	100.0					92,608	85.2		
移出	74,298	100.0					54,376	73.2		
移入	59,455	100.0	17,082	28.7			31,797	53.5		
計	133,753	100.0	17,082	12.8			86,173	64.4		
合計	242,490	100.0	17,082	7.0			178,781	73.7		

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入	16,129	14.8								
計	16,129	14.8								
移出	19,912	26.8							10	0.0
移入	10,516	17.7							60	0.1
計	30,428	22.7							70	0.1
合計	46,557	19.2							70	0.0

## 外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

## 乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路	5,120	5,120	0
内国航路	83,747	42,121	41,626
計	88,867	47,241	41,626

## 3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な 取扱貨物
	バース名	前面水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船 席 数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力 (t)	基数	棟数	使用面積 (㎡)	
(公 共)											
出崎埠頭	-9.0m岸壁	9.0	175	10,000	1						水産品
	-7.3m岸壁	7.3	218	3,000	2						水産品
藤原第一埠頭	-12.0m岸壁	12.0	240	30,000	1						砂利・砂
	-7.5m岸壁	7.5	260	5,000	2				1	2,550	硫酸プaster
藤原第二埠頭	-7.5m岸壁	7.5	260	5,000	2				1	2,550	砂利・砂、化学肥料
	-4.5m岸壁	4.5	180	1,000	3						
	-10.0m岸壁	10.0	740	12,000	4				2	5,000	砂利・砂、非金属鉱物 フェリー
日立浜地区	-4.5m岸壁	4.5	240	1,000	4						
鉾ヶ崎地区	-5.0m岸壁	5.0	505	1,000	7						水産品

保管施設			泊地			港湾関連施設	
区分	棟数	面積・容量	区分	水深(m)	面積(㎡)	名称	延床面積(㎡)
野積場 (木材)	-	69,883㎡	錨泊地	22.0~ 14.0	392,700	-	-
(石炭、リン鉱石、 砂利)	-	117,335㎡	はしけ溜	-	-	臨港交通施設	
普通倉庫			木材投下泊地	9.0	90,000	名称	総延長(m)
1~3類倉庫	-	-	危険物泊地	-	-	臨港道路	7,510
危険品倉庫	-	-				新交通・鉄道	-
野積倉庫	-	-				ヘリポート	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-					
冷蔵倉庫	-	-					
水面倉庫(貯木場)	-	49,000㎡					

## 4. コンテナターミナルの概要

該当なし

## 5. マリーナ

区分 名称など	施設規模			収容能力				上下架施設 (能力、基数)	泊地 水深 (m)	開設年度	関連施設	
	陸域 (㎡)	水域 (㎡)	防波堤 延長 (m)	合計 (隻分)	陸上保管		水面保管					
					ボート ヤード (隻分)	艇庫 (隻分)	浮棧橋 (隻分)					固定 棧橋 (隻分)
リアスハーバー宮古 〒027-0028 宮古市神林9-1 ☎0193-71-1120	12,400	13,200	110	150	75	75	30	0	-	-	平成11 年度	クラブハウス 駐車場

※ディングギーヨット専用マリーナである。

※浮棧橋は、一時係留用である。

## 6. 緑地

名称	区分	面積(m <sup>2</sup> ) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
						利用施設	附属施設
藤原緑地		4,700 (60)	-	休息緑地	昭和51年度	ぶらんこ1基、砂場1カ所、すべり台1基、ジャングルジム1基	遊歩道368m <sup>2</sup> 、ベンチ23基、照明灯5基、クズ籠6基、便所1カ所
藤原緑地		16,880 (90)	-	緩衝緑地	昭和52年度 昭和61年度	-	避難道路740m
藤原緑地		16,000 (50)	-	緩衝緑地	平成12年度	多目的広場1面、テニスコート1面、兼用コート1面、ゲートボール場1面、アスレチック広場1面	遊歩道、照明灯15基、ベンチ10基、トイレ1カ所
出崎緑地		8,400 (50)	-	休息緑地	平成16年度	芝生広場1面	照明灯13基、ベンチ22基、トイレ1カ所
出崎先端緑地		12,895 (50)	-	休息緑地	令和3年度	展望広場1面 芝生広場1面	ザイル遊具1基 潮だまり1箇所 海釣りエリア約150m

## 7. 基地港湾

該当なし

## 8. ポートサービス

港湾運送

名称	所在地	電話番号	業種				
			一般	港湾荷役		はし	いか
				船内	沿岸		
宮古港湾運送(株)	〒027-0038 宮古市小山田1-44	0193-62-3501	○				

曳船

名称	所在地	電話番号	馬力	隻数
海洋曳船(株)	〒026-0013 釜石市浜町1-1 市営ビル304号	0193-24-3322	1,800PS×2	1

通船

名称	所在地	電話番号	隻数
岩手県北自動車(株)遊覧船事業部	〒027-0001 宮古市日立浜32-69	0193-62-3350	1

## 9. 関係出先官公署

名称	所在地	電話番号
函館税関釜石税関支署宮古出張所	〒027-0038 宮古市小山田1丁目-1-1	0193-62-6559
仙台検疫所宮古出張所	(仙台検疫所花巻空港出張所)	0198-29-6725
東北運輸局岩手運輸支局宮古庁舎	〒027-0038 宮古市小山田1丁目-1-1	0193-62-3500
宮古海上保安署	〒027-0006 宮古市鍛ヶ崎下町2-33	0193-62-6560
岩手県沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	〒027-0072 宮古市五月町1-20(合同庁舎内)	0193-62-2221
宮古市役所	〒027-8501 宮古市宮町一丁目1-30	0193-62-2111

概略図

